



2020年8月12日
株式会社モビリティランド

”コカ・コーラ” 鈴鹿8時間耐久ロードレース第43回大会の開催中止について

株式会社モビリティランド(本社:三重県鈴鹿市)は、2020年10月30日(金)~11月1日(日)に、鈴鹿サーキットで開催予定でありました「2019-2020 FIM世界耐久選手権最終戦 ”コカ・コーラ” 鈴鹿8時間耐久ロードレース第43回大会」につきまして、本年度の開催を中止することを決定いたしました。

これまで開催に向けた準備を進めて参りましたが、国内外における新型コロナウイルスの感染拡大状況や各地域での防止対策などを踏まえ、現段階で海外からの渡航に関する規制解除の見通しが立っておらず海外チームの入国が難しい状況を鑑み、開催中止を判断いたしました。

楽しみにされていたファンの皆様および関係者の皆様におかれましては、ご理解くださいますようお願いいたします。

国際モーターサイクリズム連盟(FIM)会長 ジョージ・ヴィエガス氏

「日本で最も象徴的なレースであり、世界で最も重要なレースのひとつに数えられる鈴鹿8耐の中止を発表することは、私にとっても、全てのモーターサイクルファンにとっても、とても悲しいことです。

今年は鈴鹿8耐が世界耐久選手権に加わって40周年を迎える記念すべき年であり、今、私がただひとつ申し上げることができるのは、来年はこれまで以上に素晴らしいものとして開催されるだろうということです。

日本の政策を理解するとともに、これまで鈴鹿8耐を開催すべく、ご尽力いただいたモビリティランド、ユーロスポーツ・イベント、MFJに深く感謝いたします。

2021年にお会いしましょう！」

ユーロスポーツ・イベント代表 フランソワ・リペイロ氏

「私たちはモビリティランドと連携して、1978年の初開催以来初となる、7月から11月への開催スケジュール変更を行い、国際チームとライダーが日本へ入国できるよう、あらゆる努力を続けてまいりました。しかしながら、入国規制を前に、私たちの努力が実を結ぶことはありませんでした。

”コカ・コーラ”鈴鹿8耐は、単に国内イベントとして開催されるものではなく、観客のアクセスの問題が中止の理由ではありません。40年以上の歴史を誇り、世界で最も権威のある耐久レースである鈴鹿8耐は、世界中のトップライダーなしには開催できないのです。」

株式会社モビリティランド代表取締役社長 田中薫

「”コカ・コーラ”鈴鹿8時間耐久ロードレースについて、11月1日に皆様と一緒に笑顔でスタートの瞬間を迎えられることを目指して準備を進めておりましたが、国内外における新型コロナウイルスの拡大状況と渡航規制の解除が見通せないことから、誠に残念ながら中止という苦渋の判断をいたしました。

当初予定されていた7月からの延期を受け、11月の開催を楽しみにされていたファンの皆様、関係者の皆様におかれましては、ご理解くださいますようお願いいたします。

2021年の鈴鹿8耐が、より一層お楽しみいただけるものとなるよう準備を進めてまいります。」



Webike

EWC PARTNER

2019-2020 FIM Endurance World Championship Final Round
The 43rd "Coca-Cola" Suzuka 8 Hours Endurance Race

SUZUKA CIRCUIT

7992 Ino-cho Suzuka city, Mie prefecture, 510-0295 Japan
Tel 81 59 378 1111 Fax 81 59 378 4568



OFFICIAL SPONSOR